

授業科目 相談援助各論Ⅰ

【担当教員名】 河野 聖夫		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		○	
【概要・一般目標：G10】 相談援助やソーシャルワークの実践過程を、ジェネリックな視点から理解することによって、どのように適用するかを考察する。テキストや事例を通じて、相談援助の実践過程を踏まえながら学習する。また、特に社会福祉における相談援助実践の理論と方法を、実践事例による学習を通じて習得していく。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 相談援助における人間と環境との交互作用に関する理論を理解する。 2 社会福祉専門職における相談援助と援助関係について理解する。 3 相談援助の実践過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4 相談援助としての様々な実践内容・方法についてその基礎を学び、習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				第1章相談援助とは
2	ソーシャルワークの構造				第2章第1節
3	ライフニーズへの視点				第2章第2節
4	ソーシャルワークの実践機能				第2章第3節
5	人間と環境の交互作用				第3章
6	人間と環境の交互作用				第3章
7	ソーシャルワーク関係				第4章第1・2節
8	相談援助における援助関係のシステム				第4章第3節
9	相談援助における専門職の姿勢と位置				第4章第4・5節
10	相談援助のための面接技術				第12章 視覚教材
11	相談援助面接の展開				第12章 視覚教材
12	相談援助における原理・原則と実践				第12章 配布資料
13	相談援助の展開過程 概要				第5章 視覚教材
14	相談援助の展開過程 概要				第5章 視覚教材
15	まとめ				考察 振り返り
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		7 相談援助の理論と方法Ⅰ	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	最新版
参考書		ソーシャル・ケース・ワークとは何か ケースワークの原則：援助関係を形成する技法、新訳改訂版	メアリー・E・リッチモンド著/ 小松源助訳 バイステック 著、尾崎新 他 訳	中央法規 誠信書房	1991 2006
その他の資料					
【評価方法】 定期試験 授業内ワークシート提出			【履修上の留意点】 予習と復習		